

京都 東山三十六峰越 walk <<2>>

【2】 東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 2016. 9. 13.

稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ
帰りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした



山科 西野山市街地から眺める稲荷山



山科側の稲荷山山頂 三の峯参詣道



もう 何十年ぶりか? 久しぶりに歩きはじめた稲荷山。
山科側の山中は 緑の林に包まれた静かな空間の中を稲荷山山頂三ヶ峰への小道がつづく。
昔から伏見稲荷への参詣する多くの人かたどった道。
霧雨けふる林の中に幾つも名も知れぬ祠や塚そして行場がポッと現れてくる 摩訶不思議なワンダーランド。
神が集う山 今はやりのパワースポットか?
初めて山科側からたどる稲荷山への道は
この山が伏見稲荷の御神体山であることを随所で体現させてくれる。
霏がかった林の中に 赤い鳥居が正面向こうに浮かんでいる。
稲荷神が降臨した稲荷山山頂 三ヶ峰への参道の入口である。
何十年ぶりかの三ヶ峰 随分変わっているようですが、 今はどうなっているのか.....



京都 東山三十六峰越 walk をしようとなった本年6月 山科西野山を歩いた記録です。

このwalk で知った山科の歴史などに触れていますので、ご参考まで

【和鉄の道・Iron Road】 by Mutsu Nakanishi

◆ 京都山科 西野山walk 2016.6.3.

古代の鍛冶伝承・稲荷伝承の残る京都山科に坂上田村麻呂の墓を訪ねる

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm>

稲荷山概要 稲荷山と伏見稲荷 & 稲荷神の伝承 稲荷信仰に潜むと土着の神

1. 稲荷山横断ハイク walking Map

稲荷山横断ハイク walking Map 伏見稲荷大社へ ← 稲荷山三ヶ峰 ← 山科IC横登山口から



2. 稲荷山 稲荷神降臨・稲荷信仰の伝承

◆ 伏見稲荷大社と稲荷山 稲荷神が降臨した三ヶ峰 稲荷信仰の象徴 赤い千本鳥居と稲荷山の杉



伏見稲荷大社



七条大橋周辺より 鴨川越しに眺める東山 の南端 西野山・稲荷山 2016.9.13

伏見稲荷大社は京都東山36峰の南端に位置する稲荷山三山(三ヶ峰)を「稲の穀霊神・稲荷大神」が宿る山・神体山とする神社で、稲荷山の麓に本殿があり、稲荷山全体を神域とする。全国に約3万社あるといわれる稲荷神社の総本宮である。旧称は稲荷神社。式内社、二十二社の一社。旧社格は官幣大社で、現在は神社本庁に属さない単立神社。

稲荷大明神の神名化された下記5柱の神々を祭神とする全国に広がる稲荷信仰の中心に位置する。稲荷山三ヶ峰の下社に主祭神である「宇迦之御魂大神」を、「佐田彦大神」を中社、「大宮能売大神」を上社に据え、明応8年(1499年)に本殿に合祀された左右の摂社、「田中大神」・「四大神」とともに、五柱の神を一宇相殿(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。

稲荷神社の起源は「山城国風土記」逸文に残されていて、711年(和銅4年)伊弉呂妻公が、勅命を受けて伊奈利山三ヶ峰(稲荷山)に三柱の神を祀ったことに始まる。それには富裕だった伊弉呂が、お餅を弓矢の的にしたところ、餅は白い鳥になって飛び去り、稲荷山に舞い降り、そこには、稲が生え(稲成りいなり)た。伊弉呂の子孫は、伊弉呂の過ちを悔いて、杉の木を植えて祭ったのが、稲荷神社の起源とされている。

◎ 稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴とされ、伏見稲荷大社では神楽を舞う巫女の頭にも、杉の葉が飾られる。



◆ 稲荷山三ヶ峯の社の祭神について インターネット <http://amago.hatenablog.com/entry/2014/08/01/125701> ほかより

伏見稲荷大社は稲荷大明神の神名化された下記5柱の神々を祭神とする全国に広がる稲荷信仰の中心に位置する総本宮。稲荷山三ヶ峯の下社に主祭神である「宇迦之御魂大神」を、「佐田彦大神」を中社、「大宮能売大神」を上社に据え、明応8年(1499年)に本殿に合祀された左右の摂社、「田中大神」・「四大神」一宇相殿(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。



伏見稲荷大社 本殿を眺める

本殿 向かって左から 田中大神 佐田彦大神 宇迦之御魂大神 大宮能売大神 四大神 の五柱がまつられ、これら五柱の神々の総称が「稲荷大神」とされている。稲荷神は古く一柱の神のように伝えられていたものが、平安時代には下社、中社、上社に三座の神々(宇迦之御魂大神 大宮能売大神 四大神)が祀られ、やがて新たに二座(田中大神 佐田彦大神)を加えて現在の形になったと見られてる。

稲荷山の山上 三ヶ峯に祀られている三座の神々は古墳時代にまで遡る稲荷山の神奈備信仰とも結びついており、今でも一ノ峰(上之社神蹟=末廣大神)、二ノ峰(中之社神蹟=青木大神)、三ノ峰(下之社神蹟=白菊大神)の三ヶ峯への信仰を色濃く残っています。(御神蹟とは、太古に神が宿っていた場所といい、また、三ヶ峯の大神は稲荷大明神の神明化された神々とされている。)

また、三ヶ峯の社の祭神については時代の移り変わりによって諸説ありますが、現在の大神の見解では、下社=宇迦之御魂大神、中社=佐田彦大神、上社=大宮能売大神とし、下社摂社の田中大神、中社摂社の四大神については由緒不明であるものの、「元は稲荷神と何らかの深い関わりがある地主神、あるいは土着的傾向が濃厚」とし、五柱の神を祭神として 伏見稲荷本殿に 一宇相殿(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。



一の峯 上社



二の峯 中社



間の峯 荷田社



三の峯 下社

稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴

弘法大師と「稲を担う老翁」 稲荷神が 京都東寺の守り神

「稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴」
 稲荷神社の起源は「山城国風土記」逸文に残されていて、711年(和銅4年)伊弉具素公が、勅命を受けて伊奈利山三ヶ峯(稲荷山)に三柱の神を祀ったことに始まる。
 その理由は伊弉具がお餅を弓矢の的にしたところ、餅は白い鳥になって飛び去り、稲荷山に舞い降り、そこには稲が生えた。(稲成り・いなり)伊弉具の子孫は 伊弉具の過ちを悔いて、杉の木を植えて祭ったのが、稲荷神社の起源とされており、稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴とされている。
 そんなイメージで見るからでしょうか、稲荷山の道筋の杉林は心なしか、密集していて林が暗い。異次元の空間の感じが漂う。義雨の林の中 雨粒は落ちてこないのですが、蒸し暑くポケットの地図も内から濡れて びしょびしょです。
 119番通報ポイント番号【3】 11.51
 この周辺は西野山 山科区に属している。
 一方稲荷山全体は伏見区で、正確には東西に並び異なる二つの山。
 伏見稲荷の神域も稲荷山。
 しかし、ほぼ同じ高さの山が並んでいて 全体を稲荷山と誤らされてる。

伏見稲荷大社・間の峯 荷田社 と 荷田氏
 伏見大社の由来についての伊奈利伝承に対して、稲荷神の鎮座を「稲を担う老翁」に求める伝承があり、伏見稲荷で泰氏とともに神官を勤めた荷田氏系の伝承とされている。
 稲荷大明神伝記(南北朝時代)による(大意)弘法に7年(816)4月の頃、弘法大師が紀州田辺の宿で身の丈八尺あまりの異相の老翁に遇った。(これを神と知った)大師は、鎮座国家のため密教経路の道場・東寺において神の加護を待つと告げると、老翁はそのみぎりには必ず参詣して大師の法術を習得せよと告げた。
 降って弘法14年(823)4月10日、彼の紀州の老翁が、稲を担い杉の葉を担い、二人の女性と二人の童子をともなって東寺の南門にやってきた。
 大師は喜んでこれを敬待し、道僧もこれに喜ぶた。老翁は、しばらく東寺の家に寄宿していたが、その間大師は東寺の廂山に勝地を定めて7日間禱進し、稲荷の老翁を神として祀ったとある。
 同じように伝承が幾つ方あるにも、東寺の鎮座神として現在でも伏見稲荷大社と東寺を同視し、関係が深たれているという。
 稲荷大神が稲荷山三ヶ峯に鎮座した際、最初に奉祀したのは、荷田氏とされ、間の峯の稲荷社には荷田氏の祖神が祀られていた。
 インターネット 検索まとめ転記

二の峯から三の峯に向かう途中、間の峯 伊勢大神を祀る荷田社 2016.9.13.

伏見稲荷大社/三の峯/山科折上神社 稲荷塚 を結ぶ稲荷信仰のレイライン

◆ 稲荷信仰聖地 山科折上稲荷・稲荷山・伏見稲荷大社を結ぶレイライン 1/2

伏見稲荷・稲荷山・折上稲荷、3つの稲荷信仰の聖地が直線上に並んでいる
 711年(和銅4年)稲荷大神が降臨した際、稲荷山の三ヶ峯の次に降りたのが折上稲荷神社境内の稲荷塚と伝承され、伏見稲荷と共に最古の稲荷神とされている。
 伏見稲荷神社・稲荷山・折上稲荷の3つの稲荷信仰の聖地が直線上に並んでいて、これも折上稲荷神社が信仰を集める所以でもある

西野山公園
 花山稲荷神社
 折上稲荷神社
 京阪止田片岡西區
 京阪伏見稲荷駅
 稲荷駅
 伏見稲荷神社
 稲荷山
 千本鳥居

◆ 稲荷信仰聖地 山科折上稲荷・稲荷山・伏見稲荷大社を結ぶレイライン 2/2

稲荷の大神降臨伝承地 折上神社

伏見稲荷の奥の宮とされる折上稲荷神社 友の森が稲荷町 2016.9.13 12:35

折上稲荷神社境内の稲荷塚(京都市史跡)は約1,500年前のもので、稲荷神の前身、稻舩神(田)の神が祀られていた聖地。後の711年(和銅4年)稲荷大神が降臨した際、稲荷山の三ヶ峯の次に降りたのが境内の稲荷塚と伝承され、伏見稲荷と共に最古の稲荷神とされている。山に対する信仰と生産の信仰が一体となって生まれたと考えられ、合わせて古い民間信仰の姿をとどめているといわれる。

稲荷信仰と結びついた鍛冶伝承 山科花山稲荷の稲荷塚

京都山科に残る稲荷信仰と結びついた刀鍛冶の伝説
謡曲「小鍛冶」のもととなった山科花山稲荷の名刀「小狐丸」の伝承
名刀工三条小鍛冶宗近の相槌は稲荷大明神

山科盆地の北部 大文字山から比叡山へと連なる山並みの山中には鉄鉱石があり、そこから山科盆地を流れ下る山科川はかつて砂鉄の産地だったといい、山麓には如意ヶ岳南製鉄遺跡群と呼ばれる古代たたら跡が点在する。また、この山科盆地は天智天皇の御陵に象徴される古代王城の地でもあった。以前 この山科盆地北部のたたら跡を訪ねた時に、この地にも 古い鍛冶伝承が残っていると思いながら、よう見つけなかった。

今回 西野山の坂上田村麻呂の墓を訪れる機会に西野山周辺を歩こうと地下鉄 柳辻駅へ降り立ち、駅の地下通路の壁のタイルに上記した山科の鍛冶伝説を伝えるタイルをみつけ、一緒に訪ねてきました。

山科花山稲荷に伝わる名刀「小狐丸」の伝承

ある夜、一条天皇(980~1011年)が不思議な夢を見られて、当時名工として知られた三条の小鍛冶宗近に御剣を打つことを命ずる為、橘道成を勅使として遣わされました。宗近は宣旨を承りはしたものの、一人では御剣を打つことが出来ません。相槌に優れた者が居なくて困った宗近は、神にすがるとより仕方ないと思い、氏神である稲荷明神に祈願のために出かけます。すると一人の童子が現れて、不思議にもその童子は既に勅命を知っており、「君の恵みによって御剣は、必ず成就するであろう」と安心させます。そして、和漢の銘剣の威徳や故事を述べ、特に日本武尊の草薙剣の物語を詳しく語って聞かせ、「通力の身を変じて力を添えよう」と言って、稲荷山に消えていきます。

宗近は屋敷に戻って、しめ縄を張った壇をしつらえ、童子の教えのままに剣を打つ支度を調べて、祝詞を唱えて待ち構えていると、稲荷明神からの使いの狐が現れて、相槌となって御剣を打つのを手伝ってくれたのでした。やがて御剣は完成し、表に小鍛冶宗近、裏には小狐と銘を入れ、勅使に捧げると、狐は再び稲荷山に帰っていく。



【スナップ写真抜粋 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ】
東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 2016.9.13.





東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク を終えて



稲荷山 伏見稲荷大社 [三ヶ峰奥社参詣道](#) [四つ辻から眺めた京都市街地](#) 2016.9.13.
 久しぶりの稲荷山 初めて歩いた伏見稲荷参詣道稲荷山横断 walk
 霧雨が時折降る曇天の天気でしたが、神が宿る山稲荷山の雰囲気が一層強く感じながら 歩けました。
 ◎ もう何十年ぶりか？ 久しぶりに歩いた稲荷山。私の遠い記憶の山とは随分 イメージが違う。
 知っているようで知らなかった山に。

山科側の山中は 鬱蒼とした緑の林に包まれた静かな空間に稲荷山の山頂三ヶ峰への小道がつづく。
 稲荷神の化身としての神さんの祠や塚そして行場が数多く散在する摩訶不思議なワンダーランド。
 一体幾つあるのだろうか？ と。 でも今は山中の自然に溶け込んで、やりのパワース ポットに？
 初めて山科側からたどる稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを体現させてくれました。
 また、京都側 伏見稲荷神社本殿から三ヶ峰に続くに三ヶ峰奥社 お山巡りの参道にも たくさんの塚や祠。
 もとは朱の鳥居を含め、古くからの稲荷信仰の「おかげ参り」のたまもの。その数はますます増えてゆく。
 昔 登った頃と随分イメージが変化して、戸惑いも。本当にすごい

赤い鳥居トンネルが連続し、参詣する人の賑わいもさすが。

さすが、日本一の外人観光客のスポット。 平日にもかかわらず ミヶ峰への参道はほとんどが外人の観光客。 たくましく山に登ってくる外人たちの多さに、今の日本人が忘れてしまった気質を見る思いも……………。

- ◎ 知らなかった山科から稲荷山山越えすれば、もう これで 稲荷山がわかると思っていましたが、山中尾根筋や谷道に張り巡らされた参詣道の多さとその随所にある塚・行場。まだまだ 知らぬところが 数知れずあると。そればかりか、稲荷伝承も色々。稲荷大社と杉との関係も初めて。 東寺・空海と伏見稲荷との関係も興味ぶかい。やっぱり 自然信仰・土着信仰が、稲荷大神の奥深さの源になっているのだろう。
- ◎ 稲荷山の稲荷大神は農耕豊穰をもたらす開拓神。開拓神として ひょっとして 稲荷山の鉱物資源との関係もあるかもしれぬと 山中の峯・土 そして塚や行場にある伝承等々 歩く先々で痕跡を見まわしましたが、見つからずでした。おかげで 静かな山中のあちこちを眺めながらのWalk 本当に面白い山。
- ◎ 40数年前 伏見稲荷大社に数多くある摂社・参拝所のどこかで、「開運のだるま」を受け、お礼参りをした記憶。訪ねてみようと思いましたが、開運達磨を売っている店はあるのですが、今回はよくわからず。

今回のwalk で、終わりにせず、また ちょくちょく 訪ねようと……………。

霧雨が時折頬をなでる曇天でしたが、念願の山科側から京都市内側への稲荷山横断ができました。

2016.9.13. 鴨川七条大橋で

鴨川越しに東山を眺めながら by Mutsu Nakanishi

京都 東山三十六峰越 walk 2016.9.13.

【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610suberiishi00.htm>

【2】東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

◆ 京都 東山三十六峰越 walk 総合動画 2016.9.13.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610higashiyamago.pdf>

【1】滑石街道を歩く 【2】稲荷山横断ハイク 2つの動画を1つのfileに

参考 和鉄の道・Iron Road By Mutsu Nakanishi

1. 京都 東山三十六峰越 Walk 2016.9.13.

【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越「滑石街道」を歩く 2016.9.13.

京都にうれしい古道散歩道の発見 府道118号線 今熊野勤修寺線 大石内蔵助が山科から祇園・伏見へ通ったという古道

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610suberiishi00.htm>

【2】東山三十六峰南端の稲荷山 横断ハイク 稲荷山降臨伝承の三ヶ峰から伏見稲荷大社へ 2016.9.13.

掃りは山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm>

2. 京都山科 西野山walk 2016.6.3.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm>

1. 今の時代に通じる 征夷大將軍「坂上田村麻呂」& 蝦夷のリーダー「アテルイ」の評価討論 !! NHK BS 英雄たちの選択 「衝突! その時 男は何を見た 征夷大將軍・坂上田村麻呂」より

2. 京都山科 西野山walk 主要訪問先案内 山科 西野山Walk 西野山周辺の古代伝承

3. 京都山科 西野山walk

3.1. 坂上田村麻呂墓を訪ねる

3.2. 稲荷伝承の折上稲荷

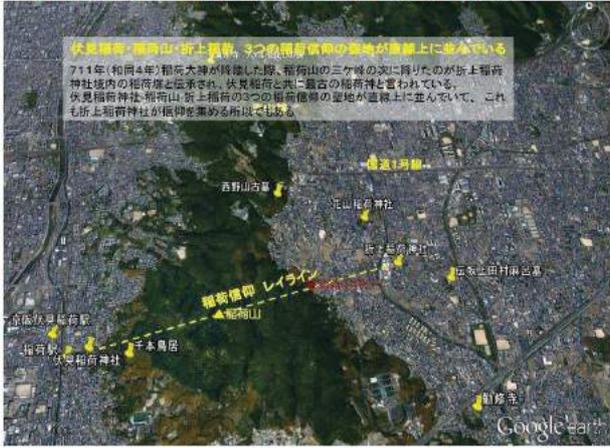
3.3. 西野山山麓の鍛冶伝承地 花山稲荷神社 3.3. 勤修寺 回遊式庭園の花菖蒲と睡蓮見学

4. 坂上田村麻呂創建の京都東山 清水寺に アテルイ・モシの碑を訪ねる

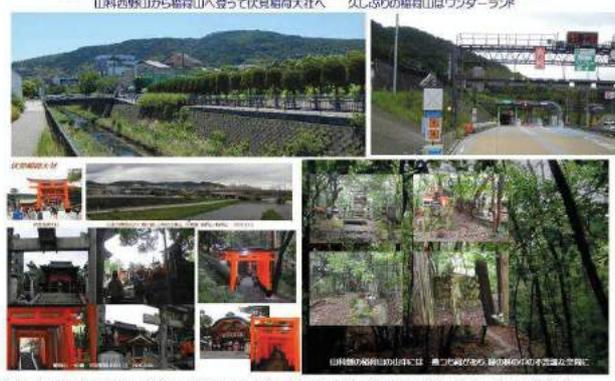
3. 京都山科に古代のたたら跡 如意ヶ岳南製鉄遺跡群を訪ねる 2013.8.26

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron09/1309yamashina00.htm>

◆ 稲荷信仰聖地 山科折上稲荷・稲荷山・伏見稲荷大社を結ぶレイン 1/2



【2】 山科の帰りは 久しぶりの稲荷山横断ハイク 2016.9.13.



もう 何十年ぶりか? 久しぶりに登った稲荷山、山科側の山中は 豊饒した後の林に包まれた神がなごむ稲荷山の山頂三ヶ峰への小道がフツク。昔から、伏見稲荷への参詣する多くの人がたどった道。神さんの祈や響をうけて行儀が多く存在する摩訶不思議なワンダーランド。一歩踏つたあたりで何か? 今では何のハイパーポイントか? 結局は山科側からだと稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを見逃さずして。また、京都側、伏見稲荷神社本陣から三分峠に続く三ヶ峰ハイク。お山頂への参詣は切れることなく続く山科側の三ヶ峰を越え、参詣する人の賑わいもまた。今日にちなみながら、三ヶ峰への参詣を待つてくる人達と自分が他人の参詣者。さすが、日本一の稲荷大社の山科側。たぐましく山を登つてくる人たちの姿に、今の日本人が忘れてしまった気負いを思ふも………。嵐雨が待機するまででしたが、嵐前の山科側から京都市内街への稲荷山展望ができました。





山科IC・稲荷山トンネル横 稲荷山登り口 2016.9.13. 11:40

入口には何もありませんが、案外、しっかりと雑草があるように整備された道が伸びていました。



119番通報ポイント番号【1】

稲荷山トレイル 2016.9.13. 11:43

登り口の奥は、すぐ、鬱蒼とした森の中、山腹を登ってゆく整備された登山道に、道脇には 119番通報ポイント【1】標識が立っていました。



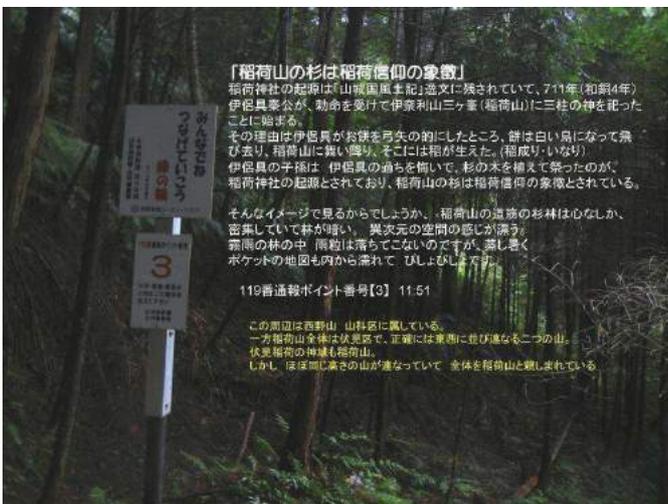
山科IC・稲荷山トンネル横 稲荷山登り口 2016.9.13. 11:40

山腹へ取りつく登り口からは、今にも雨が降り出しそう、霧雨に煙る山科の街が一瞥できました。



稲荷山トレイル 2016.9.13. 119番通報ポイント番号【2】

ついに霧雨が降り出したが、樹木がうっそうと立ち並ぶ森の中、雨粒は落ちてこない。予備では大雨にはならぬと、気分的にはちと重たいが、運も申し分ない。それに、頂上から向こうは稲荷大社の参道道。今日はやっぱり、稲荷山を越えて京都にでたい。このままがらから稲荷山を登るだろうと、それにしても、道がすべりて視界の悪化も懸念とした着、稲荷山全体が神域としてみられてきたからなのだろうかと、果た元の空間に迷い込んでゆくと思ひも感じる。屋根と屋根の間なので傘計に無い。



「稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴」
稲荷神社の起源は「山城国風土記」逸文に残されていて、711年(和銅4年)伊弉具季公が、勅命を受けて伊豫利山三ヶ峯(稲荷山)に三柱の神を祀ったことに始まる。
その理由は伊弉具が宿禰を弓矢の的としたところ、餅は白い鳥になって飛び去り、稲荷山に舞い降り、そこには稲が生えた。(稲成り・いなり)
伊弉具の子孫は、伊弉具の命を仰いで、杉の木を植えて祭ったのが、稲荷神社の起源とされており、稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴とされている。
そんなイメージで見ると、稲荷山の道脇の杉林は心なしか、密集していて林が暗い。異次元の空間の感じが漂う。霧雨の森の中、雨粒は落ちてこないのですが、蒸し暑いポケットの地図も内から蒸れて、むしろむしろです。

119番通報ポイント番号【3】 11:51

この周辺は西野山 山科区に属している。
一方稲荷山全体は伏見区で、正確には東側に並び連なる二つの山。
伏見稲荷の神域も稲荷山。
しかし、深遠に遡る山が違っていて、全体を稲荷山と観し来れている。



稲荷山へと続く西野山への尾根筋へ登ってゆく ポイント【4】周辺 11:57



谷筋を抜けて、稲荷山へと続く西野山への尾根筋へ登る登り道。視界は暗くないが明るい。



みんなでね 京都の山を 大切に

5



119番通報ポイント番号【6】 12:01
山腹を南から登ってきた勤修寺・山科浄水場からの道(左)との合流点
右が稲荷山への道で、稲荷山へ続く西野山の頂上への登り 頂上はもうすぐ上



尾根筋へ登り切るとそこは中央に三角点がある緑の明るい広場
豊道とした森を抜けての明るい空間に心地よい
西野山頂上 三角点 2016.9.13. 12:10



雨に煙る山科が樹木の間から見え 稲荷山へ続く西野山の頂上も近い



西野山頂上 三角点 2016.9.13. 12:10



南へ延びる西野山の広い山頂部 林の中に築つち祠や塚の立てられている一角が現れる
深い森の中に 突然現れる不思議な空間 2016.9.13.



西野山山頂南部 将軍菩提とその一角の塚 2016.9.13. 12:12



西野山山頂南部 将軍菩提周辺 2016.9.13. 12:12
三角点の広場を抜け 南へ延びる西野山の広い 山頂部の林の中に築つちの塚や祠があり
ちよつと不思議な空間 周辺あちこちに名前も不明な湧い田や粗上げられた岩がある。
稲荷山も含め、1万を超える塚や祠があるといわれている



西野山山頂南部 将軍菩提周辺 2016.9.13.



西野山山頂周辺 将軍菩提樹周辺 2016.9.13.



西野山から西へ林の中を稲荷山との鞍部へと下ってゆく 2016.9.13.



西野山を西へ林の中を下ると稲荷山との鞍部が見えてくる 2016.9.13. 12:19



西野山と稲荷山の鞍部十字路 2016.9.13. 12:19
左:深草方面 右:滑石街道稲荷山北登山口の標識がついた119番情報ポイント(11)



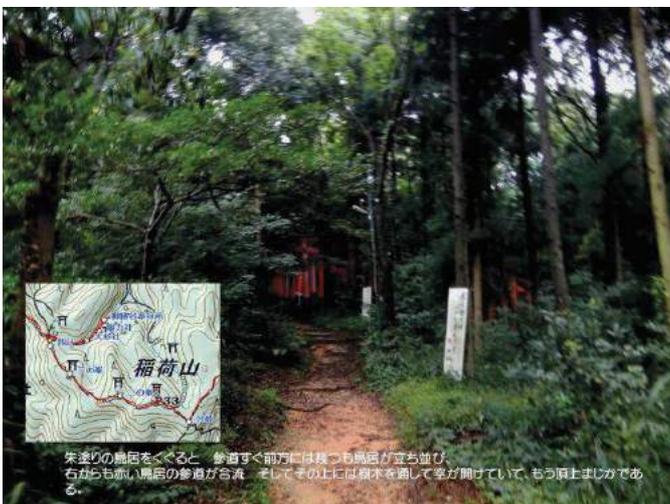
稲荷山頂上への登への道 杉林が続く 2016.9.13.
[情報ポイント]と90番目(1)に代わりました



西野山と稲荷山の鞍部十字路 稲荷山頂上への登への道 2016.9.13. 12:20.



稲荷山頂上への登への道 杉林が続く 2016.9.13.
[情報ポイント]の標識が撤去され、すうすうと杉林を登り、このころから...



正面 稲荷山 一の峯への辻 2016.9.13. 12:34

稲荷山 一の峯への辻 ポイント【52】 2016.9.13. 12:34

伏見稲荷寺道図

今回歩くまで よく知らなかった稲荷山の副-塚そして行橋 山中いたるところに こんなに沢山あるのを初めて知りました

辻の反対側は急な海田になっていて 稲荷山・西野山から南へ落ちる谷筋へ続く 稲荷山と西野山の校部院部のところ、深草方面へ進めばこの下の谷へ出られたようだ。 この谷筋には白雪大神・大岩大神や参つても行場があるという。

稲荷山

朱塗りの鳥居をくぐると 参道すぐ前方には幾つも鳥居が立ち並び、 右からも赤い鳥居の参道が合流。そしてその上には榎木を囲って空が開けていて、もう目上まじかである。

右手からは 御膳谷からの稲荷山山ヶ崎回遊参道が合流して稲荷山山頂へ。 それにしてもおびただしい鳥居にびっくりしました。

稲荷山一の峯近く 杉林の中 おびただしい数の朱塗りの鳥居が目上一の峯へと続く 2016.9.13. 12:35

石段の続く参道が目上へ この参道に入るとさすがに参詣者が多い、それもほとんど外人である



鳥居の向こうに稲荷山一の峯の上社が見え、まもなく頂上到達 2016.9.13.



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13. 12:40



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13.



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13.



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13.

◆ 稲荷山三ツ峯の社の祭神について インターネット <http://jinnagan.hatenablog.com/entry/20140906/17125781> (ほかより)

伏見稲荷大社は稲荷大明神の神名化された下記5社の神々を祭神とする全国に広がる稲荷信仰の中心に位置する総本宮。稲荷山三ツ峯の下社に主祭神である「宇迦之御魂大神」を、「佐田彦大神」を中社、「大宮能売大神」を上社に据え、明治38年(1905年)に奉祀に合祀された左名の神社、「田中大社」、「西大神」一宇稲敷(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。



伏見稲荷大社 本殿を眺める

本殿 向かって左から 田中大神 佐田彦大神 宇迦之御魂大神 大宮能売大神 西大神の五柱がまつられ、これら五柱の神々の総勢が「稲荷大神」とされている。稲荷神は古く一柱の神のように祀られていたものが、平安時代には下社、中社、上社に三座の神々(宇迦之御魂大神 大宮能売大神 西大神)が祀られ、やがて新たに二座(田中大神 佐田彦大神)を加えて現在の形になったと見られる。

稲荷山の山上、三ツ峯に祀られている三座の神々は古墳時代から続く稲荷山の神奈根宮印とも結びついており、今でも一峰(上之社神庫-天眞大神)、二峰(中之社神庫-具木大神)、三峰(下之社神庫-三郎大神)の三ツ峯への信仰を色濃く残しています。(御神籤とは、太古に神が寄っていた場所とし、また、三ツ峯の大神は稲荷大明神の神明とされた神々とされている。)また、三ツ峯の社の祭神については時代の移り変わりによって随分変わりますが、現在の大神の見解では、下社=宇迦之御魂大神、中社=佐田彦大神、上社=大宮能売大神とし、下社併社の田中大神、中社併社の西大神については辻褃不揃いであるものの、「元は稲荷神と同じかの深い関わりがある地主神、あるいは土着信仰の護摩」とし、五柱の神を祭神として 伏見稲荷本宮に 一宇稲敷(一つの社殿に合祀する形)に祀っている。



一の峯 上社 二の峯 中社 間の峯 荷田社 三の峯 下社

私が三ツ峯に登った記憶は遠く学生時代 もっと樹木も少なく、街がゆえたと、また、鳥居が山上まで 参道を遮れることなく塚の尽くしていることにも驚いています。当時も参拝者も多かったですが、今の外人観光客の姿にもびっくりです。



稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13.



私が上社まで登ってきたのは約40年ぶり、でも、山側から登ったのは初めてです。伏見稲荷大社から登った記憶を思い出していますが、当時、人は多かったのですが、樹木が少なく、もっと遠くまで見渡しがきき、月の輪の方へ下った記憶がある。また、参道を埋め尽くす茶の鳥居群にはびっくりしました。また、山科側は初めてですが、京都側の参道とは異なった静かな参道として、こゝに沢山 山中に神隠しや行儀が点在しているのも知りませんでした。私の一番の記憶は某校生の時に伏見稲荷神社で「たけなま」を受けて、成就のあとお札参りに返しに来た記憶、小さな社社が参拝所だった記憶があり、その場所も探したい、再訪まで本当に時間がたっているなあ……と。

稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 上方より 2016.9.13.



一の峯から二の峯へ 2016.9.13.
黒石のトンネルの石段を一段下って登り返すと二の峯・中社



稲荷山 二の峯 伏見稲荷大社中社 2016.9.13 12:50



稲荷山 二の峯 伏見稲荷大社中社 2016.9.13



二の峯から三の峯に向かう途中 間の峯 伊勢大神を祀る荷田社が並んでいる 2016.9.13.



伏見稲荷大社の由来 荷田社と一荷田氏
 伏見大社の由来についての伊勢初伝承に対して、稲荷神の御姿を「稲を稲たつ老翁」に求める伝承がある。伏見稲荷で奥氏とも稲神を勧めて荷田氏系の世承とされている。
 稲荷大神御姿記(南北朝時代による「大書」)
 弘長二年(864)4月の朔、弘法大師が醍醐皇の御で身の及八代あまのの御の老翁に逢った。
 これを神と別つた大御神、稲荷皇家のため密御秘傳の御姿を尋ねて三つおいて神の御姿を待つと白くると、老翁はその御姿を必要とせしめて大神の御姿をすのであると告げた。
 降つて弘長4年(866)4月10日、弘法大師の老翁が、稲を稲たつ老翁の御姿を、三人の女性と二人の童子をとも連れて老翁の御門にやつてきた。
 大御神尊んでこれを御し、道向もこれに習った。老翁は、弘法大師の家に寄宿して居たが、その間大神は老翁の御山に御地を定めて11日間御座し、稲荷の御姿を神として祀つたといふ。
 同様に老翁の御姿を尋ねたところ、老翁の御姿を、稲を稲たつ老翁の御姿として現在でも伏見稲荷大社と奉告し、御姿を稲たつ老翁といふ。
 稲荷大神が稲荷山に奉告に御座して居る御姿に御姿を、荷田氏と云われ、其の年の荷田氏は荷田氏の御姿が白くおられる。
 アンダー・アクト・オブ・ア・ブックス

二の峯から三の峯に向かう途中 間の峯 伊勢大神を祀る荷田社 2016.9.13. 12:54



伏見稲荷 三の峯・下社前 数多くの塚が並んでいる 2016.9.13.



伏見稲荷 三の峯・下社へ 2016.9.13.



伏見稲荷 三の峯・下社 2016.9.13.



三の峯から四辻へ 鳥居のトンネルが続く 2016.9.13.



伏見稲荷 お山巡りの参道の起点 四つ辻 2016.9.13.



下から登ってきた参道

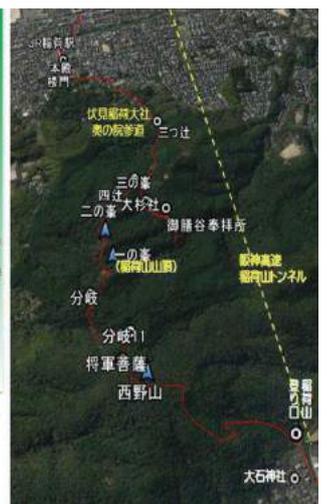
御膳谷へのお山めぐりの道(逆まわり)



伏見稲荷 お山巡り参道の起点 四つ辻 2016.9.13. 13:01
鳥居のトンネルを抜けると眼前に京都市街地の景色が広がっていました



四つ辻は下から登って来て「お山めぐり」の起点「お山めぐり」の参道 御膳谷参拝所を迂回してから山を下ることに通常は伏見稲荷大社本殿から奥の院の参道を登ってきて、この四つ辻から逆時計回りに三ヶ峯を登ってこの四つ辻へ戻る。今回は山科から登って 御膳稲荷山 頂上に登ったので、一の峯から二の峯 三の峯を登って四辻に降りてきました。それで 四つ辻から 三ヶ峯の北麓の御膳谷の参道の御拝所まで往復してから 稲荷大社に行くことになりました。



大石神社



御膳谷へお山めぐりの道(逆まわり)の参道を下りる 2016.9.13. 13:04
右側の向こうには鳥居と鳥居の間を抜けるための扉の木の奥のトンネルが見えている



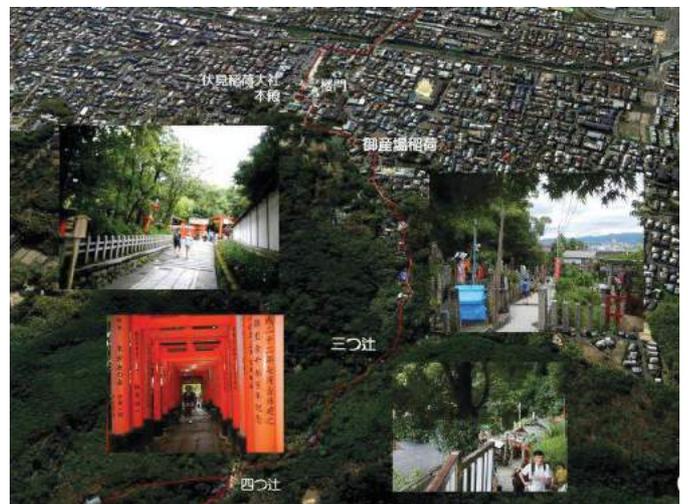
御膳谷 奉拝所 御膳谷神蹟 三ヶ峯の北後背地に当たる場所 2016.9.13. 13:11



御膳谷 眼力社 2016.9.13.



御膳谷 基拜所 二の峯の北後背地に当たる場所 御膳谷神蹟 御膳谷神蹟
台地の上にはたくさんのお山めぐり参道



御祭りの各部門の案内印刷紙を持って、鳥居の森をめぐります。 2016.9.13

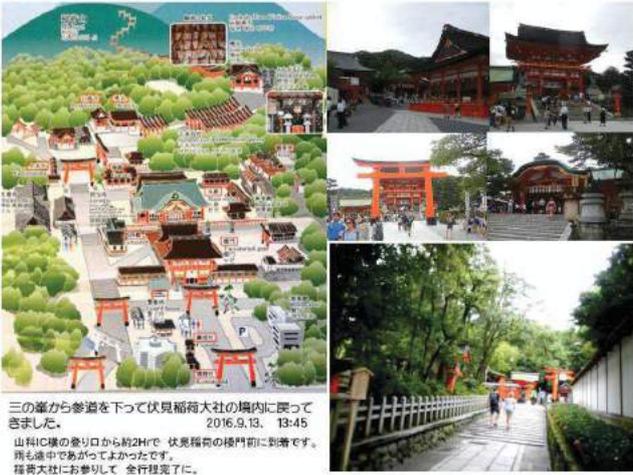
四つ辻に戻って 京都 西山を眺める 2016.9.13.

四つ辻から 西山の展望を楽しんで 伏見稲荷大社へ参道を下る 2016.9.13. 13:25

急な階段の参道 おびたしい数の鳥居を翹り抜け 稲荷大社へくぐってゆく。 2016.9.13.

稲荷大社への下り参道で 2016.9.13. 13:40

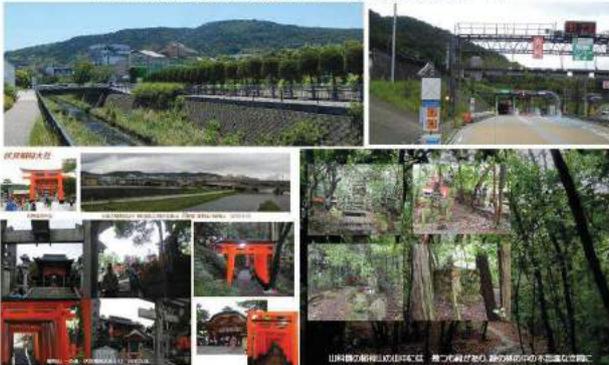
伏見稲荷大社の境内にでて、正面大鳥居から本殿へ 2016.9.13. 13:45





一度歩いてみたかった 東山36峰の南端 稲荷山の横断 2016.9.13. (左上写真マナーナホウ)
山科 西野山から稲荷山へ登って 伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした

山科からの帰り 久しぶりの稲荷山横断ハイク 2016.9.13.
山科 西野山から稲荷山へ登って 伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランド



もう 何十年ぶりか? 久しぶりに歩いた稲荷山。山科側の山中は 鬱蒼とした緑の林に包まれた静かな空間に稲荷山の山頂三ツ峠への小道がつつく。昔から 伏見稲荷への参詣する多くの人がたどった道。 神さんの御やぐらとして行儀が整ったワンダーランド、一帯履つあるのだろうか? 何十年のパスポートか? 初めて山科側からたどる稲荷山への道は山科 伏見稲荷の御神体山であることを体感させてくれる。また、京都府 伏見稲荷神社本務所から三ツ峠に続く三ツ峠参道 山科側の参道にも たくさんの御やぐら、神さん御やぐらと参詣する人の賑わいもまた、赤い鳥居トンネルが連続し、参詣する人の賑わいもまた、平日にもかかわらず 三ツ峠への参詣を待つ人はいくらも外国人観光客、さすが、日本の外国人観光客のスポット。でも、たたく山を登ってくる外人たちの姿と、今の日本人が忘れてしまった気節を見る思いも……。

③ 知らなかつた山科から稲荷山へ登ると、もう これでは稲荷山がわかると混ってしまいが、山中の山頂や谷間に点在する参詣の姿とこの道所にある参詣場。まだまだ 知らぬところが 数知れずある。そればかりか、稲荷伝承もまた、興味深い。稲荷大社と杉との御産も初めて、来客・参詣と伏見稲荷との御産も興味深い。 やつぱり 自然遊歩・土着信仰が、稲荷大社の奥深さの源になっているのだろう。

④ 稲荷山の稲荷大社が御産をもちたす御神体、稲荷山として 参詣道との関係があるかもしれない。山中の参事、そして参詣場にある伝承や御産や先づ御産を見ましたが、見つからずでした。でも 本心に参詣し。

⑤ 40数年前 伏見稲荷大社に数多ある御社・御産のどこかで、「前通のどらま」を受けて、また、お礼参りをした。記憶がある。そこを訪ねてみようと思いましたが、稲荷参詣を先づいて西はあるのですが、今日はよくわからず、

今日のwalkで、気づかずに、また、ちよくよく 語りよと……。

霧雨が降折敷をなでる盛大でしたが、急峻な山科側から京都市内側への稲荷山横断ができました。

2016.9.13. 馬川七条大橋で 稲荷山・東山を眺めながら by Mutsu Nakanishi



一度歩いてみたかった 東山36峰の南端 稲荷山の横断
山科 西野山から稲荷山へ登って 伏見稲荷大社へ
久しぶりの稲荷山は ワンダーランド でした

馬川 京都駅東 堀小路橋から遠望する東山南端部 西野山-稲荷山 2016.9.13.

久しぶりの稲荷山 初めて歩いた伏見稲荷参詣道稲荷山横断 walk

- ① もう 何十年ぶりか? 久しぶりに歩いた稲荷山。私の思い出の山とは随分 イメージが違う。知っているようで知らなかつた山に。
- ② 山科側の山中は 鬱蒼とした緑の林に包まれた静かな空間に稲荷山の山頂三ツ峠への小道がつつく。昔から 伏見稲荷への参詣する多くの人がたどった道。 神さんの御やぐらとして行儀が整ったワンダーランド、一帯履つあるのだろうか? 何十年のパスポートか? 初めて山科側からたどる稲荷山への道は山科 伏見稲荷の御神体山であることを体感させてくれる。また、京都府 伏見稲荷神社本務所から三ツ峠に続く三ツ峠参道 山科側の参道にも たくさんの御やぐら、神さん御やぐらと参詣する人の賑わいもまた、赤い鳥居トンネルが連続し、参詣する人の賑わいもまた、平日にもかかわらず 三ツ峠への参詣を待つ人はいくらも外国人観光客、さすが、日本の外国人観光客のスポット。でも、たたく山を登ってくる外人たちの姿と、今の日本人が忘れてしまった気節を見る思いも……。
- ③ 知らなかつた山科から稲荷山へ登ると、もう これでは稲荷山がわかると混ってしまいが、山中の山頂や谷間に点在する参詣の姿とこの道所にある参詣場。まだまだ 知らぬところが 数知れずある。そればかりか、稲荷伝承もまた、興味深い。稲荷大社と杉との御産も初めて、来客・参詣と伏見稲荷との御産も興味深い。 やつぱり 自然遊歩・土着信仰が、稲荷大社の奥深さの源になっているのだろう。
- ④ 稲荷山の稲荷大社が御産をもちたす御神体、稲荷山として 参詣道との関係があるかもしれない。山中の参事、そして参詣場にある伝承や御産や先づ御産を見ましたが、見つからずでした。でも 本心に参詣し。
- ⑤ 40数年前 伏見稲荷大社に数多ある御社・御産のどこかで、「前通のどらま」を受けて、また、お礼参りをした。記憶がある。そこを訪ねてみようと思いましたが、稲荷参詣を先づいて西はあるのですが、今日はよくわからず、

稲荷山横断ハイク walking Map 伏見稲荷大社へ ← 稲荷山三ツ峠 ← 山科に横登山口から



参考 和鉄の道・Iron Road By Mutsu Nakanishi

1. 京都市街と山科を「東山」を越えて結ぶ滑石街道 & 稲荷山横断 ハイク 2016.9.13.
 - [1] 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越 滑石街道を歩く 2016.9.13. 京都にうつくしい古道の歴史 発見 <http://www.infokkna.com/ironroahtd/2016htm/iron12/1610suberishi00.htm>
 - [2] 久しぶりの稲荷山横断ハイク 2016.9.13. 山科 西野山から稲荷山へ登って 伏見稲荷大社へ 久しぶりの稲荷山はワンダーランド <http://www.infokkna.com/ironroahtd/2016htm/iron12/1610inariyam00.htm>
2. 京都山科 西野山walk 2016.6.3. 古代の畿台伝承・稲荷伝承の源京山科に坂上田村麻呂の墓を巡る ● 東山田村麻呂墓を巡る ● 西野山山頂の築山伝承地 花山稲荷神社 ● 稲荷伝承の参詣場 <http://www.infokkna.com/ironroahtd/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm>
3. 京都山科に古代のたたら跡 如意ヶ岳南製鉄遺跡群を巡る 2013.8.26. <http://www.infokkna.com/ironroahtd/2013htm/iron09/1309yamashina00.htm>

[追補] 2つに分けて掲載した 9月13日の京都東山越えwalk 京都 東山三十六峰越 Walk 2016.9.13.

1. 大石内蔵助が京都に通った古道 滑石街道 (藤岡街道)
2. 稲荷神降臨伝承の稲荷山三ツ峠 伏見稲荷大社の参詣道をたどる



